

事業の基礎情報

事業実施地域	関西全域（滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・兵庫県・和歌山県）
人材育成の対象	交通分野の実務者（行政・交通事業者・コンサルタント・大学）及び地方議員
人材育成の手法	講義及びワークショップ等を主体別に展開
人材育成の内容	まちと交通を体系的に学び、視野を拡大し、様々な立場の相互理解につなげる
想定育成人数	想定される人数（セミナーの総参加者数約80名）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

まちづくり・交通の現場では、都市・交通政策を体系的に学ぶ機会が限られ、かつその範囲は広範に及ぶ。そのため、現場の実務者が基礎的な知識を習得する機会を提供することが極めて重要になる。そこで、本法人では関西を中心に、まちづくりや交通に携わる大学人、実務者が、理論・実践に関する情報を提供し、参加者相互の対話と交流を通じて、参加者の気づきを促すプログラムを用意し、我が国のまちづくりと交通が持続可能なものになることを目指す活動を行っている

（事業の概要）

- ① 交通分野に携わる行政職員、地方議員、コンサルタント・交通事業者の実務担当者を対象
- ② 議員セミナー：地方議員を対象とした講義と意見交換会（コミュニティ交通・ローカル地方鉄道）
技術セミナー：交通分野における各種統計データの具体的な利用・活用方法を学ぶセミナー
地方セミナー：関西以外の地域の有識者らと共同で交通分野の実務者向け基礎的な内容のワンデーセミナー
イブニングセミナー：海外の交通事情や旬の交通政策を学ぶセミナー
- ③ 体系的な知識と視野の拡大、気づきの機会の提供を行う

取組の詳細

特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾

(事業により見込まれる効果)

- ・ 地方自治体の交通担当者は経験が浅く、人員規模も限られ、ノウハウが蓄積されにくい。バス事業者の企画部門の体制も脆弱で、いずれも各自の組織風土に慣れ、視野が狭く、変革を起こしにくい環境にある。
- ・ そこで、当法人の各プログラムはリアルな題材をもとに多様な実務者が交じり合い対話による互学互修を基本とすることで、相互の気づきにより視野が広がり、組織風土の変革を自ら行える人材へと成長していくことが期待される。
- ・ 本事業の実施によって、40の地域において、行政と交通事業者間の相互理解により、事業の円滑化が期待される。

(事業実施手順・スケジュール)

- 5月下旬～ イブニングセミナー 実務者を対象に旬の交通政策を学ぶオンラインセミナー
- 8月上旬 議員セミナー（コミュニティ交通編）地方議員を対象としたワンデーセミナーで、講演と出席者の課題認識に応じた質疑
- 9月上旬 技術セミナー 実務者を対象としたデータ利活用（各種統計入手、分析手法）に関するワンデーセミナー
- 10月初旬 地方ワンデーセミナー比較的经验の浅い実務者を対象とした講義中心のワンデーセミナー（福井開催）
- 11月中旬 議員セミナー（ローカル鉄道編）地方議員を対象としたワンデーセミナーで、講演と出席者の課題認識に応じた質疑（オンライン併用）
- 1月下旬 イブニングセミナー 実務者を対象に海外の交通事情を学ぶオンラインセミナー

(補助事業実施後の予定)

本補助事業により参加者拡大に向けた周知方策の検討を通じ、議員セミナーなど、安定的な参加者数を確保することをめざす。

またこの塾に集まる実務者のコミュニティを拡大することにより、関西全体の実務者の質を高め、同時に安定的な資金獲得につなげていく。

地方セミナーは、昨年は金沢で開催したものに続き福井で開催し、次年度は富山での開催など、地域の担い手にノウハウを伝授し、自立開催につなげていく。